

なんだ・かんだ

◆ 新薬 ◆

私も今年 64 歳になりますが、色々な検査数値が年々悪くなり、御多分に漏れず定期的に病院へ通っています。ずっと血圧が高めで気に掛けていたのですが、担当の先生はそれくらい大丈夫ですよと薬も処方してくれなかったのですが、数カ月前に担当が変わると直ぐに薬が処方されて現在は服用しています。毎朝会社に出社すると血圧を測定しているのですが、140 前後あった血圧が薬を服用後は 110 程度に落ちて安定しています。薬の力はすごいものです。

先月の定期診察では悪玉コレステロール値が少し高いということでこちらも薬が処方されました。悪玉コレステロールは心臓病や脳梗塞のリスクとなるので注意しなければいけないのですが、私の場合はそれほど高い値ではなく、善玉コレステロール値が高かったため薬は要らないと思っていたのですが、結局服用することになってしまいました。服用後の検査はまだ受けていないので結果はまだ分かりませんが、これからもうちょっと少しずつ色々な薬が増えて行くんだと思います。

ただ、亡くなった私の祖母は薬だけでお腹一杯になるのではないかと思われるくらい沢山の薬を服用していて、一度薬の服用過多で体調を崩したこともありました。やはり薬の量は少ないに越したことはありません。

先日の日経新聞に、「悪玉コレステロール」の治療に投与回数が年 2 回の新薬が昨年上市されたという記事が出ていました。既存薬が使えなかったり、「悪玉」の値を十分に抑えづらかったりする患者さん向けですが、身体的負担を軽減しつつ治療でき、循環器内科などで導入が始まっているそうです。

伊豆長岡にもある順天堂大学医学部附属順天堂医院では心筋梗塞などの既往症がある患者さんに対して、再発予防の治療として使用されているそうで「外来で半年に 1 回の注射で済み、治療が楽と喜ぶ患者がいる」ということです。

この新薬は前述した様に、従来の薬ではコレステロール値を十分に下げることが出来なかったり、筋肉の痛みや筋力低下などの副作用で服薬が難しい患者さんにも効果が見込め、肝臓に「悪玉」を取り込むたんぱく質の働きを高め、血中の「悪玉」を減らす効果が高く副作用も少ないということです。

ただ、費用が結構掛かります。新聞によると、薬剤費は 1 回あたり約 44 万円。保険適用で高額療養費制度を使える場合、例えば 70 歳未満で年収 370 万～770 万円の人では、1 回あたりの自己負担限度額は約 8 万 2 千円、年収 370 万円未満だと同 5 万 8 千円になるということです。

それでもこれまで使用されてきた薬に比べて、より効果が高く、体への負担が少ない薬ということでこの病気に罹っている方には朗報です。

だいたい前に本コラムに掲載した C 型肝炎の治療薬「ハーボニー」それまで 30 年の長きに渡り患ってきて、何回かの新薬の治療でも治らなかったものが、数カ月の服用で完治したという話を掲載しましたが医学の進歩はすごいものだと思います。その内人間は不老不死になってしまうかもしれません。



■ 空調服・空冷服 ■

今年の夏は異常に暑い日が続いたので、当社でも建築の現場に出る者を対象に、ファン付きのベストいわゆる空調服を支給しました。後ろにファンが出ているタイプではなく、側面についているタイプです。社員からは好評です。

その他、凍らせたペットボトルを服に取り付けて、チューブで冷水を循環するモノや、電源を流すと冷却するペルチェデバイスを搭載したベストなどもあります。今期の夏はもう遅いかもしれませんが来年を見据えてご検討頂ければと思います。

再びコロナ

気象庁は 8 月 1 日に今年 7 月の日本国内の平均気温が平年（2020 年までの 30 年平均）よりも 2・16 度高く、統計を始めた 1898 年以降で最も高かったと発表しました。記録的猛暑となった昨年の 7 月を上回って、2 年連続で過去最高を更新しました。まだ、8 月の結果が出ていませんが、この一カ月の暑さを考えると、7 月より更に暑いのではないかと思います。

そんな連日暑い日が続く中、長いお盆休みが明けたところで、当社へコロナの攻撃がありました。一週間で感染者が 3 名、家族との濃厚接触者が 1 名とこれまでで一番の被害でした。症状も熱が出る者と、それ程出ない者もあり、感染経路も違うのではないかと思います。熱が出ない症状の者は出勤しようとしたのですが、最近熱が出ないコロナが流行していることがニュースになっていたため、病院へ行って陰性を確認してから出勤する様に促したところ、検査結果は陽性でした。

現在感染可能期間を過ぎていますが、マスク着用やアルコール消毒等コロナ5類移行任意としたコロナ対策を再び励行する事にしました。

代表取締役 服部 敏一郎

社員ブログ

● マイクロバブルが漁業養殖を救う？ ●

営業部 村田拓也

マイクロバブルといえばここ最近 TV ショッピングなどでシャワーヘッド等をよく見かけます。

私は 10 年程前に、当社のお客様である工作機械メーカー様から刃物の冷却とクーラントの延命を目的としたマイクロバブルの利用の宿題を頂きました。

結果は何となく良い感じではあったのですが、付加価値を数値化できないので、コストに対して成果が読めず受注には至りませんでした。

ただこの時にマイクロバブルがもたらす効果はスピノフ的に聞いていて、農業や漁業で当時から成功例はありましたので、関連するお客様にはアナウンスはしておきました。

そしてあれから 10 年が経過した今、沼津でアジやブリを養殖しているお客様から問い合わせを頂きました。

ここ最近の温暖化に依り、養殖場の海水温度がかなり上がっていて魚の食欲が下がり、中には死んでしまうケースも多々あるそうです。

マイクロバブルで海水を活性化させ酸素をより多く含有させる事が目的です。マイクロバブルが、沼津のアジを救えるか？

結果ははかりに 乞うご期待♪



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com

URL <http://www.chikiri.com/>